

多職種連携シート ガイドライン

○使用目的

- ・このシートは、地域包括ケア推進に向けて、多職種が協働し支援することを目的とする。
- ・医療と介護が連携することで、本人や家族の意思決定を尊重しながら、生活の質の向上を担保し、その人らしく生きることができるようシートを活用する。
- ・病状の進行により本人による意思決定が困難となった場合、関係者間で本人にとっての最善について話し合うためのツールとしても使用する

○使用方法

- ・本人の医療的な情報のみでなく、生活歴、精神状態、本人や家族の意向等も記入する。
- ・各専門職がかかわる過程で、本人の精神状態や病状等必要な最新の情報を記入し、共有する。
- ・医療機関の入退院時のフェイスシートとしても活用できる。

○使用上の留意点

- ・このシートは、医療従事者、介護従事者間において共有する。
- ・個人情報に留意し、必要な情報のみ記入して、やり取りする。
- ・個人情報漏えい・目的外使用によるトラブルに関しては、使用者の責任とする。
- ・各在宅療養者（利用者）に関わる専門職種間でのみ情報のやりとりを行い、他者への情報公開、閲覧などは禁止する

＊このシートは完成形ではないため、今後使用していただき、ご意見を反映してより使用しやすい様式にと考えていますので、加筆、修正する可能性がある事をご理解ください。

＜多職種連携シートに関するお問い合わせ先＞

地域包括支援センターアンパス東大阪

TEL 06-4307-0165